進捗報告

1 今週行ったこと

「ひと☆ねこ」で猫画像が集められるか及び仮実験ができるかを検討した。ラベル付けされておらず、後からラベル付けをするのは困難なので、現状実験するのは難しい(できたとしても種別を分ける程度のことしか不可能であると思われる)。現在集めているデータ形式は以下の表1の通りである。

表 1: ねこのデータ形式一覧

ねこリスト	表2参照
ねこまわり写真	ラベル付けされていない画像が撮影日ごとにファイル化
ねこまわり記録用紙	どこにどんな猫 (色、名前など) がいたかを記録した紙媒体のものを写真で撮ったもの
ねこ図鑑	親しみやすいように猫の写真及び性格が書いてある
記録会	ねこまわり写真と同様だが、比べると接写が多い



現在、ひと☆ねこに画像集め及びラベル付けの協力ができないか協力をお願いしている所である。幹部から許可は出たが、実働部隊である記録班にお願いしている状況である。また、サポーターさん(餌をあげている人)が餌をあげている際に写真または動画を撮るようにすれば、猫が集まりやすくデータを集める手段として有効であると思った (図1参照)。また、一つの疑問として耳カットする前と後できちんと同一個体と認識できるのであろうか。オスが右耳カット、メスが左耳カットである。

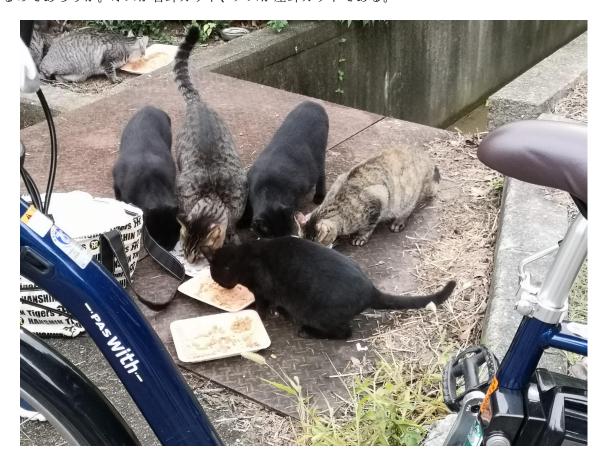


図 1: サポーターさんが餌をあげている様子

2 次回行うこと

ひと☆ねこに協力を仰ぎつつ、データを集める方法についてより良いものがないか調べる。下の参考文献の例では、餌をあげている状態から撮影を開始しており、9頭のチンパンジーに対して計約 5000枚の写真を撮っている。参考文献(畳み込みニューラルネットワークによるチンパンジーの個体識別)https://www.jstage.jst.go.jp/article/pjsai/JSAI2018/0/JSAI2018_1B1OS11a05/_pdf/-char/ja